

国立大学法人筑波大学からの報告の概要
(11月1日13時30分までに受けたもの)

- 9月4日から9月8日、国立大学法人筑波大学において、密封線源（ニッケル63、370 MBq）を内蔵したECDガスクロマトグラフ（※）（以下、「ECDガスクロ」という。）を誤って廃棄していたことが、10月30日に判明した。
- 当該ECDガスクロの発見及び回収が見込まれないことから、10月31日14時30分に放射性同位元素の所在不明と判断した。
- 本事象による被ばく及び汚染は確認されていない。

（※）気体中の特定のガスの濃度を計る装置

以上